

平成29年衆議院議員選挙に際して  
LGBT（性的指向・性自認）をめぐる課題に関する  
各立候補者の政策と考え方に関する調査<調査票>

平成29年10月

LGBT法連合会

立候補（予定）者のお名前（ 富永きよ ） 所属政党（ 希望の党 ）

（ 愛媛県第1区 ） 選挙区 ・ 比例区

連絡用お電話番号：089-945-1037

問1 貴殿が今回の衆議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかのLGBT支援・権利確保政策は既に含まれていますか？将来はいかがでしょうか？（単独回答）

1. ○ LGBTの課題として、既に含まれている
2. 様々な少数者の支援・権利確保を謳う中に含まれている
3. 将来入る可能性はある
4. 将来入る可能性はない
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問2 個人としての、LGBT当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人からLGBTであることを、もし告白（カミングアウト）されたら、あなたはどうなさいますか？（複数回答可）

1. ○ その人を尊重し応援したいと思う
2. 距離をおきたいと思う
3. 差別や偏見で苦勞するだろうから、異性愛者としてや、戸籍上の性別のままで生きるように諭す
4. 答えられない／分からない
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問3 LGBT 支援政策の下記の①～⑦の課題各々に関して、法制度や行政がどのように対応すべきか、ご自身のお考えを選択肢 1～5 から選び、ご記入下さい。

	る 普遍的な制度とすべきである	法律で義務化し、全国的に ず、行政（省庁・自治体） の裁量に委ねるべきである	法律にて具体策は規定せ である	現場の裁量にゆだねるべき である	わからない	その他／ 1-4 から選択肢を選んだうえでの補足、 等（自由回答）
① 性的指向・性自認と、LGBT 当事者の直面する困難について、広く社会に教育・啓発を行う	1○	2	3	4	5	
② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBT へのいじめ・差別を防止する	1○	2	3	4	5	
③ 国・自治体の各レベルで、LGBT（性的指向・性自認に係る）の困難解消に向けた、基本計画を策定し実施する	1○	2	3	4	5	
④ 学校・職場における、LGBT へのいじめ・ハラスメントの防止体制を確立する	1○	2	3	4	5	
⑤ 困難を抱く LGBT に対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場等に整備する	1○	2	3	4	5	
⑥ LGBT に対する（性的指向・性自認に係る）、差別や不利益取扱いを防止・禁止する法律やルールを制定する	1○	2	3	4	5	
⑦ 施設・職場・学校等にて、LGBT に配慮した、サービスや施設面の対応を推進する	1○	2	3	4	5	

**問 4** 世界では、現在 41 の国と地域で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域では同性間に適用できるパートナーシップ制度が広まっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）

1. ○ 同性間でも男女と同じ婚姻制度を適用できるようにすべきだ
2. 現在の婚姻に加えて、別途同性間だけのためのパートナーシップ制度を設けるべきだ
3. 現在の婚姻に加えて、（事実婚など異性間でも、）同性間でも利用できるパートナーシップ制度を設けるべきだ
4. 各自治体が、条例や首長のリーダーシップにて、同性間の関係を認知する宣誓・証明等を行う仕組みを広げていくべきだ（渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市等の例にならぬ）
5. こうした制度は異性間のものであるべきで特に必要ない
6. 答えられない／分からない
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**問 5** 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面する LGBT 当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事が出来るとお考えでしょうか？ ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。

（自由記述）

自分が自分らしく前向きに生きられるよう、一人ひとりがお互いを尊重し、多様性を認め合える社会づくりに積極的に取り組んでいます。その中で、LGBT および性的少数者の方々への社会や医療者の理解はまだ不足しています。性は、自分が自分であることの証であり生きる土台です。そして、性は心と体の最奥にある聖なる領域であり、たとえ親であろうと触れることができない自分そのものの根っこです。

性とは生、そして性とは聖。性の多様性が認められない社会では、それぞれに性のあり方は異なるというごく当たり前の事すら理解が進みません。LGBT および性的少数者のみなさまにとって、今の日本は自分にウソをつかない生き方ができる社会であるとは言い難い状況でしょう。その結果、自殺という悲しい選択を選ばれる方も少なくありません。自殺という悲惨な結末に至らなくとも、つらいストレスを受け続けると、腰痛や肩こりなどの痛みだけではなく、将来、動悸、めまい、頭痛などの不定愁訴、うつ病、高血圧、糖尿病、ガンの発症率が高まります。

痛みの原因となるストレスは様々ですが、ストレスの中でも性に関するストレスは生命を脅かすほどの激烈なストレスであると考えられます。なぜなら、性は自分がよりよく生きるための最大のエネルギーだからです。自分の性を全うできない時、人は想像を絶するストレスに襲われます。

男性でも女性でも、そうでない方も、みんながそれぞれ自分らしくあっているのです。性は二つに一つではなく、性的指向および性自認がみんな異なっているんです。みんなが認め合い、支えあえる社会の実現を目指しています。

経験:

えひめ LGBT センター虹力(にじから)スペースでのイベントに参加しています。

現在も LGBT の皆様と交流し、性的マイノリティの理解を深めています。

国会議員として同姓婚の法整備など、法整備を整えてまいります。LGBT 関連法案の迅速かつ的確な対応ができるようにします。

\* 質問は以上です。記入漏れがないか念のためご確認の上、ご返送下さい。ご多忙の中、ご協力いただき誠にありがとうございました。